



3月30日(日)「関東シルクロード」を行いました。今回のコースは“玉川上水”、羽村から新宿までの約42キロです。参加申込は、なぜかとても少なく5通でした。さらに、都合がつかなくなった方が2名いまして、つまり、3名の参加となりました。ちょっとさびしい気もしますが、参加者はみんな顔なじみ、海宝さんが企画・運営する大会の常連、もちろん、「関東シルクロード」の常連でもあります。つまり、参加したのは、中江つぎえさん、滝口博義さん、石井純子さん。参加したくてできなかったのは、篠塚三樹雄さんと沢田初美さんです。篠塚さんは、お父様がお亡くなりになったということでした。謹んでご冥福をお祈りいたします。私(町田)も、今年1月11日に父親が他界しました。今回の下見は1月16日でした。たまたま火葬場の都合で葬儀が1月20日でしたので。

海宝さんの「さくら道」は今年10回目です。ひとつの節目に来たようです。そんなこんなですが、私の妻が妊娠しました。出産予定日は10月30日ということ。秋の「関東シルクロード」の季節ですが休暇をとります。来年の春には復活！そんな心の、今年の春の「関東シルクロード」です。



少ないほど、密度は濃く

3月30日(日)9時、JR青梅線羽村駅の南口ロータリーに集まったのは、中江つぎえさん、滝口博義さん、石井純子さん、そして海宝道義さんと町田行弘の5名です。なんとも少ない人数ですが、それだけに、密度の濃い走りが期待できそうなメンバーです。早速、走る準備に着替えて、出発します。まず、線路を駅の構内を通過して渡り、羽村堰へ向かいます。



羽村堰は、多摩川の水を玉川上水に取り入れている場所で、ここが、玉川上水の起点になります。この日は「さくら祭り」が行われるようで、朝早くからその準備の人々やブルーシートで場所取りをする人々で、いつも以上にぎやかです。ただ、そんな思いとはうらはらに桜の花はまだほんのりと開きかけという感じで、2分咲きくらいでしょうか？わたしたちも、満開の桜の下を走ることを想像していたので、ちょっぴり残念です。



玉川上水はどこへ？

羽村堰からしばらく、遊歩道を走ります。10分ほどで遊歩道が終わり、車道を走ることになります。しかも、牛浜駅付近からは、車道にしながら、玉川上水をたどりたのに離れてしまったり、無理に近づこうとすると住宅地に阻まれて行き止まりで引き返したり。こんな調子で新宿まで行けるのか？と不安になってしまいます。でも、やっかいなのはこのあたりだけと、進めば道は開けるものです。

9時50分「水喰土公園」に到着します。ここで、トイレ&給水休憩。この公園は、青梅線と玉川上水の間にあり、八高線と



国道16号線をくぐり拝島駅の手前まで続きます。ほんの少し玉川上水わきの細い車道を走ると右手に拝島駅が見えてきて一つ目の踏切を通過します。実はこの線路、横田基地引き込み線のようなので、現在も使われているのでしょうか？そういえば踏切の警報機はあったようですが遮断機はあったかなあ...？ここから玉川上水の右側には、やや狭いのですが、土の遊歩道が続きます。右側の車道を見下ろすように少し高い場所を走ります。先頭を海宝さんと石井さん、後方から中江さんと滝口さんが追いかけるかたちで進んでいきます。そして再び踏み切り、今度は西武拝島線です。そのまま右側の遊歩道を走り、“拝島上水橋”で左側に移動します。左側にも遊歩道が続いています。





園原さん、元気かな？

やがて、右手にゴルフ場が現れます。“昭和の森ゴルフコース”です。この中の“昭和の森ゴルフアカデミー”というセクションに園原健弘さんが勤務しています。園原さんは、バルセロナ・オリンピックの競歩の選手で、アシックスに勤務していました。ウルトラマラソンと競歩の共通点を探り、「サロマ」というシューズを生み出しました。海宝さんも町田もいろいろとお世話になった方です。中江さんは、町田が以前働いていた「WEST EAST」で園原さんを招いての“ウルトラマラソン・セミナー”で、園原さんのアドバイスを真剣に聞いていました。



美しい渓谷美

玉川上水の左側の遊歩道を走り続け、11時、西武拝島線“玉川上水駅”に到着しました。上には、立川を通り多摩センターへ向かうモノレールが走っています。ここで、しばらく休憩します。出発するとすぐに、玉川上水は野火止用水と分かれます。左側に流れ出した野火止用水は、埼玉県に入り志木市の新河岸川にたどり着きます。ここからの距離は25キロです。



このあたりから、すぐわきを通っていた車道が消え、住宅が現れます。そして、高かった玉川上水の金網が無くなり、低い柵に変わります。玉川上水の姿も、小さな渓谷のようになりました。ちょっと自由な雰囲気の広がり遊歩道を走ります。“玉川上水駅”から約30分、今度は西武国分寺線“鷹の台駅”に到着。ちょうど駅の横には“小平中央公園”が広がっていて昼食にはちょうどいいかな？と思ったのですが、何かお店はないかな...と探しながら走っているうちに公園を通り過ぎてしまいました。

滝口さんリタイアか？

このあたりから、滝口さんが遅れがちになりました。1ヶ月ほど前にぎっくり腰をやってしまい、今回は“さくら道”へ向けての様子見なのです。

次の踏切、西武多摩湖線でコンビニを発見！ここで昼食を買います。どこか手頃な場所を探して移動しますが、そんな場所がなく、遊歩道の片隅で買ったお弁当を食べることになりました。場所が場所なので、あんまりのんびりすることなく、20分ほどの昼食休憩。12時40分走り始めます。

玉川上水の遊歩道は続きます。左には五日市街道が走ります。小金井公園が近づくと駐車場への渋滞が始まりました。桜の開





花宣言の影響でしょうか？滝口さんは腰が不安で遅れがちになります。そして、「ここから一番近い駅からキセルしてゴール地点で待っています」町田は「そうしますか。ここだと中央線の東小金井になります」でも、師匠の海宝さんは先を走っています。挨拶なしで“一抜けた”とはいかないわけで、海宝さんたちが待っていてくれたのは、最寄り駅でいえば次の“武蔵境”に近い場所でした。滝口さんが、そのことを告げると師匠は「じゃあ、歩きましょうか」

未知のゴールを目指して

ちょうど五日市街道から離れて、少し休憩を兼ねて歩くにはちょうどよいタイミングでした。それにしても“なんで？”という“不思議”…。私が滝口さんだったら「絶対無理です」と電車に乗っているかな。“歩く”と言われたみなさんも快く歩いてくれました。左手に“東京都水道局境浄水場”を見ながら、遊歩道を進みます。歩き出して25分、遊歩道はなくなり、三鷹駅にぶつかります。駅の少し先の地下道で反対側に出ることができます。しばらく遊歩道はありませんが、玉川上水の左横の車道を進みます。右側に歩道が現れて移動してすぐに“井の頭公園”入口。さらに続く玉川上水の右側には再び遊歩道がありました。

井の頭公園の中を抜けて、遊歩道は左へ移り、玉川上水と民家の間を抜けて行きます。滝口さんの体調に合わせて歩いたりジョグしたり。そして、下見の最終地点、井の頭線の富士見ヶ丘駅入口に到着しました。無理せずここで終わりということにするのかな…？



と思ったら「ここからは未知の世界ですから」と、海宝さんは最終地点を目指す意思表示。

姿が無くても玉川上水

玉川上水は中央高速の下に入り込んでその姿が消えました。環八を渡り、首都高速4号線の下を進み、甲州街道に合流する直前、左側に「玉川上水公園」なるものを発見！それは、約1.5キロほどの細長い公園でした。途中で海宝さんの買ってくれたソフトクリームを食べて休憩し、子供のための遊具や花壇などの中をうきうき気分で行き抜けると、甲州街道に出ます。明大前を越えたところで、石井さんが膝の痛みをうったえました。予定では、笹塚から初台まで、玉川上水を追いかけるつもりでしたが、これは少し遠回りになるので、甲州街道を直進して「新宿御苑大木戸門」へ向かうことに。

ここからは、2年前の「関東シルクロード 甲州街道」で走っ





た道です。途中、笹塚駅あたりで“たいやき半額”の看板に海宝さんは立ち寄り、1匹50円のたいやきをごちそうしてくれました。

都庁を越えて、新宿駅南口が近づくとひどい人混み。普通なら人混みに紛れてしまうのですが、紛れようにもちょっと違う格好なのでそうもいかず、早くこの場所から抜け出したい！新宿駅を越えて坂を下り、新宿御苑に向かう道路に侵入して一安心。しかし、新宿御苑から出てくる人混みにまたまた驚かされつつ、大木戸門に到着。ここが、羽村堰から流れ出した玉川上水の最終地点です。玉川上水をたどる旅、お疲れ様でした。



今回、町田のカメラのトラブルがあり、後半は、海宝さんのカメラで撮影したのですが、ちょうど「さくら道」の準備その他、忙しい最中で、データーの受け渡しに時間がかかってしまいました。写真をお送りするのが遅れまして申し訳ありませんでした。それでは、来年の春、お会いしましょう！

海宝 道義	228-0003	神奈川県座間市ひばりが丘 2-29-10 046-255-4689
町田 行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12-201 042-773-7415
中江 つぎえ	228-0814	神奈川県相模原市南台 5-21-15 042-774-1653
滝口 博義	247-0026	神奈川県横浜市栄区犬山町 73-17 045-981-8050
石井 純子	206-0823	東京都稲城市平尾 1-52-22 042-331-5570

